

学校評価シート（自己評価）

幼保連携型認定こども園岡田幼稚園

1、園の教育目標

本園は集団生活を通して、知的な面においても情緒的な面においても社会性においても子どもたちがより望ましく成長し発達していくことを目標とする。

- 喜んで登園する子どもに
- いつも目が輝いている子どもに
- 丈夫なからだをもった子どもに
- のびのびと表現し、喜んで創造する子どもに
- 友達とよく遊び、協力できる子どもに
- よく考え、豊かに想像する子どもに
- お話をよく聞き、自分の気持ちを言える子どもに
- よく考え、豊かに想像する子どもに

2、具体的な目標や計画

園の教育目標に基づいて、各自が評価項目に沿って自己評価を実施する。また、指導計画の再確認を行い、内容を検討して、保育内容の見直しや改善を行う。

子どもたちが自ら考え主体的に行動していく教育を念頭に、カリキュラムを考慮しながら教育活動を進める。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
指導計画について	A	日案・週案・月案を作成して、保育の流れを明確にするとともに子どもたちの姿を捉えて無理のない指導計画を作成した。また、ねらいや内容、環境の構成が適切であったかどうか、幼児の活動に沿って必要な援助が行われていたかどうかを再確認して、保育内容の見直しや改善をした。
危機管理体制について	B	危機管理マニュアルの中で、各職員の役割を明確にし、周知徹底している。また、避難訓練を計画的に実施し、緊急事態への備えをしている。今年度3月になってしまったが、1歳児、2歳児用の防災頭巾を購入することができたので、今後1歳児、2歳児は避難だけではなく、防災頭巾の着用の練習を行う。
衛生管理について	A	園全体で新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、手洗い、消毒、定期的な換気を行った。園児が触るおもちゃの消毒、机椅子の消毒等様々な箇所に、除菌洗浄水生成器を使用した。また、密を防ぐため保育室内に机の増加を図った。今後も国、市及び薬剤師の森山先生に指導を仰ぎ、教職員全員が感染症について理解し安全な保育を行う。

守秘義務の遵守について	A	個人情報や個別の事案等は慎重に取り扱い、園外では口外しないと教職員のから書面で同意が取れている。また、保護者から園内での個人情報等及びインターネット等における園児の肖像権の同意についても書面で同意を得ている。
研修について	B	川越北消防署の方に来園して頂き、保育教諭は救急法（AED）の研修をすることができた。また、キャリアアップ研修にも参加して保育の質を高めることができた。栄養士・調理師も川越市が主催する研修に参加できた。今後も教職員は積極的に研修を行う。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	教員は学校評価の趣旨を理解して取り組むことができた。 保育士等キャリアアップ研修に保育教諭が参加でき保育の質を高めることができた。今後も参加できるようにする。 平成30年から埼玉県学事課より許可を受け進めていた多目的運動場（人工芝）が完成して全園児が安全に利用できる運動場が完成した。今後も園児の体力の向上、運動能力の促進に繋げたい。

○結果(※)について		
A	十分達成されている	
B	達成されている	
C	取り組まれているが、成果が十分でない	
D	取組が不十分である	

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育内容	令和3年度の自己評価を受けて、今後も保育教諭が新しい課題を設けることで、自己成長に取り組んでいく。
キャリアアップ研修	日程が定まっているため、保育教諭同士でよく話し合い、できる限り保育教諭がキャリアアップ研修に参加できるようにする。
指導計画	保育教諭間で保育を見せ合い、検討して評価反省する機会を設け指導計画の改善を図る。今後も保育教諭は、保育環境の構成に力を入れて、保育の向上を心がける。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼保連携型認定こども園岡田幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和4年2月5日（土）

9:00 ~ 9:45（時間）

出席者 評価委員（地域住民）2人

評価委員（評議員）2人

- 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

概ね目標に向かい達成されている。今後も保育者として、自らを評価して日々の保育を充実させる。

- 評価結果の内容は適切であったか

概ね適切であった。

- 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

概ね適切に設定されている。

- 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

概ね適切だが、今後も課題に対してさらなる努力をもって取り組んでもらいたい。